

CASB ワーキンググループ設立について

2016年3月1日

諸角 昌宏

本書は、CASB (Cloud Access Security Broker) ワーキンググループの設立にあたって、その概要および活動方針を示す。

1. 目的

CASB ワーキンググループは、日本における CASB の普及に向け、テクノロジーおよびビジネスへの適用方法、また、今後 CASB 上に展開(搭載)される機能について幅広く議論し情報提供を行う。また、CCM 等の管理策に対する CASB の適用方法などの研究活動も行う。

CASB の用語自体は、2014 年から 2015 年に大きく広まった。また、CSA ジャパンも、勉強会、Congress 等を通して普及に努めた。しかしながら、CASB の中味や使い方については、まだまだ広まっていないと思われる。本 WG では、この状況を打破し、真に CASB が広まることへの貢献を行っていく。

2. 活動方針

以下の活動を中心として行う：

- CSA 本体が持っている技術情報、ビジネス適用情報を入手し、日本で展開する。Japan Summit、Japan Congress、定例勉強会、その他の場を利用して、情報提供を行う。
- CASB のユースケースおよびパイロット利用の状況を入手し、CASB の使い方のガイドラインを提供する。
- CSA ガイダンス、CCM/CAIQ の観点から、CASB が技術的に解決できる管理策の洗い出し、および、適用方法等の研究を行う。

3. 設立時メンバー (敬称略)

- リーダー： 夏目 道生
- 設立時メンバー： 勝見 勉
- 事務局： 諸角 昌宏

以上